



お住まい拝見

6月13日～

6月20日

-第1177号-

LDKから海眺め満喫

新居さん宅

開口いっぱい外の景色が味わえるリビング・ダイニング。夫婦が長くくつろぐ場所となっている

撮影:高野生優(フォートアートたかの)

仕事で、神奈川県から移住した新居さん(47)夫妻。太平洋を見下ろし、サトウキビ畑広がる南部ののどかな高台に、打ち放しの2階建て住宅を建てた。「眺めを満喫し、愛犬たちとのんびり暮らしたい」と要望した新居さんが実現したのは、LDKや寝室、浴室から景色が見え、中庭で愛犬たちがくつろぐ、ゆったりとした住まいだった。

太平洋と空を身近に

沖縄で会社を設立することになり、神奈川県から移住してきた新居さん夫妻。「子育ても終わりましたし、これからは夫婦二人、6頭のワンちゃんたちと一緒にのんびり暮らしたいと思ったんです」と話す。

「せっかく沖縄で住むなら、海が見える高台で」と、土地探しをスタート。そして那覇への通勤圏内で太平洋が眺められる、南部の高台に土地を見つけ購入。周囲に緑の多いロケーションも決め手になった。

「土地を仲介した不動産会社の担当者から、建築士を紹介されたんです。作風や提案力、誠実な人柄が気に入り設計を依頼し



上部に突き出し窓がある高い天井で、明るく伸びやかなLDK。奥の中庭の天井にはトブライトがはめ込まれ、美しい光のラインを落とす

ました」。

新居さんは、風景を眺めながら、愛犬とゆったり過ごせる開放的な家を要望。シンプルでモダンな飽きの来ないデザインとすることも建築士に伝えた。

新居さん宅は、地階に駐車場、1階にLDKや水回りを配したシンプルな間取り。高い天井のLDK、浴室やゲストルームでは、開口いっぱいには太平洋やサトウキビ畑が見える。リビング・ダイニングに隣接する中庭は、6頭の愛犬がくつろぐスペースになっている。

「浴室や寝室でも、景色を味わえる造りが気に入っています。来客があっても、中庭のガラス戸を閉めれば気にならないし、ワンちゃんたちも、ガラス越しにわたしたちの姿が見えるので、安心しているようです」とにっこり。

休みの日は、夫人と時間をかけて室内外を掃除し、リビング・ダイニングでゆったりと時間の流れを感じているという新居さん。「夜になると、やさしい街の明かりが見え、心癒やされます。近い将来、孫たちと一緒に遊べる日が待ち遠しいですね」と目を輝かせた。



打ち放しでシンプルに仕上げた外観。傾斜した地形に沿って、地階は駐車場に充てた



打ち放しでシンプルに仕上げた外観。傾斜した地形に沿って、地階は駐車場に充てた

データ

家族構成：夫婦、犬6頭
敷地面積：380.15平方メートル(約115坪)
地階床面積：40.01平方メートル(約12.1坪)
1階床面積：150.92平方メートル(約45.7坪)
建ぺい率：46.92%(許容60%)
容積率：40.19%(許容200%)
用途地域：未指定地域

躯体構造：鉄筋コンクリート造
設計：(有)義空間設計工房
伊良波 朝義、山城 勝久
建築：(株)謝花組
電気：(有)新栄電機
水道：石橋工業(株)
キッチン：(有)モブ

快適つくる
裏方さん

4.5メートルの天井高さで開放感

眺望の良さを生かしながら、愛犬と快適に暮らせる造りの新居さん宅。設計者の伊良波朝義さんに同宅の設計ポイントをうかがった。



外の景色が存分に楽しめる浴室。床はベランダと同じ高さにし、広さを感じさせるよう工夫



アジアンモダンの家具が品のよさを感じさせる寝室。サッシを開け放せばベランダとの一体感が生まれ、より開放感漂う

敷地は北から南にかけて低くなっており、西側の一部は高くなっています。そこで最も低い南側に土留めを兼ねた駐車場を配し、高くなっている北・西側に建物を一部乗せる形で設計。建物の構造への負荷を軽減しました。

新居さん夫妻は当初、居室を2層にすることを希望していましたが、その高さだと電線で視界が損なわれる点や、敷地北側にある地域の公園からの眺望を妨げることから、LDKだけ天井を4・5?と高く取り、開放感が得られるよう工夫。上部には突き出し窓を設け、光と風が行きわたるようにしました。夫妻の要望だった室内から景色が眺められる造りは、開口を南に広く取り、LDKや寝室、浴室やゲストルームも南にレイアウトすることで実現しています。

また愛犬と快適な暮らしが楽しめるよう、リビング・ダイニングの隣に半戸外の中庭を配し、愛犬も伸び伸びと過ごせるスペースとしました。さらに床には、目地がなく水で洗えるホモジニアスタイルを使っています。

そのほか、新居さんが絵画や焼き物、インテリアが好きなことも踏まえ、室内はシンプルな仕上げを心掛けました。玄関にはクロークを、寝室にはウォークインクローゼットをそれぞれ設け、すっきり住みこなせるようにしています。

施主の要望や地域との調和を踏まえ、よりいい住まいを提案する。それが、建築士の役目だと考えます。



来客用の和室。間接照明で趣きある雰囲気演出した。仏壇は扉で目隠しできる

ベランダに模様と広がり ロケーションの良さ生かす

新居さん宅では、ベランダに工夫を凝らしている点も見どころとなっている。

1つ目は天井。四角のトップライトを等間隔に設けることで、深く取られた庇の陰の中で、きれいな模様が床の上に浮かび上がる(左写真)。

2つ目は、床の高さ。室内とベランダで床の高さをそろえることで、外の景色と室内のつながりが感じら



れるようにした(右写真)。

伊良波さんは「床高をそろえるに当たっては、サッシメーカーと相談しながら、水じまいを工夫しました。せっかくロケーションのいい家ですから、ベランダを光の変化や広さが感じられる空間にすることで、開放感が得られるようにしました」と話す。



写真提供：新居さん

人と犬の適度な距離感

互いに安心感生む造りに

リビング・ダイニングに隣接する中庭は、新居さんのワンちゃんたちにとって、くつろぎのスペースとなっている。設計者の伊良波さんは「人が集まるリビング・ダイニングの近くにワンちゃんたちのスペースをレイアウトし、ガラス戸越しに互いの姿が見える造りとする方が、適度な距離感の中で、人にとっても犬にとっても安心感が生まれやすいんです」と説明する。

(有)義空間設計工房 電話：098・888・5303 <http://www.gikuukan.com/>

(株)タイムス住宅新聞社・週刊「タイムス住宅新聞」編集部
画像及び文章の無断転載・無断引用・販売などは固くお断りします。
Unauthorized redistribution of my data is strictly prohibited